



校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

マナー講習会 北都銀行〇〇先生に学ぶ



講師の〇〇〇先生



2年生の真剣な態度

7月13日(木)の3校時、北都銀行本荘支店長の〇〇〇さんを講師にお迎えし、2年生を対象に「マナー講習会」を行いました。〇〇先生には2年連続で講師をお願いしています。

この講習会は夏季休業中に行われる職場体験活動「なりたい自分を目指す14歳の挑戦!」の事前学習として位置付けられたものです。

最初に〇〇先生ご自身、小中高と野球に取り組み、北都銀行入行後には都市対抗野球全国大会に出場するなど、スポーツを通して「あいさつ」や「礼儀」の大切さを学んだこととお話しされました。

また、北都銀行には「タイ」や「台湾」にも支店があることから海外勤務を夢見て入行した人を例にあげ、「目的」や「希望」をもって就職したからこそ、仕事に「楽しさ」や「生きがい」を見いだすことができるのだというお話もありました。

中でも、「何のために働くのか」を考え、「自分がどのようになりたいか」を早めに決めることが大切で、具体的にやりたいことがある人は成長するというお話は子どもたちの心に残ったようです。

北都銀行の新人研修についてのお話もありました。最初に学ぶことは「あいさつ」だそうです。「あいさつ」は「心を開くこと」「相手を認めること」で、その結果、警戒心が解けてコミュニケーションが取りやすくなるという利点があります。そして、必ず「相手の目を見てあいさつする」ことが大切というお話は先日の「新聞作成講習会」でもありました。さらに、「あいさつ」や「身だしなみ」でその人物の第一印象が決まるという「人の印象は6秒で決まる」という法則にも驚いていました。

最後の「今の学びや経験が将来に生きる。ともかく広く学ぶことが大切で、社会人になってからも学ぶことが多い。」という〇〇先生の言葉は、子どもたちへの「メッセージ」として大切にしていきたいと思いました。

夏休みに入れば、2年生はそれぞれの事業所で「大人の世界」を経験することになります。この講習会で学んだことを、困難や厳しさを乗り越えるための力としてほしいものです。

「ねんりんピック」 の旗を作成中です



©2015 秋田県んだッチ



9月9日から秋田県の各地を会場に「ねんりんピック」が開催されます。「ねんりんピック」は「全国健康福祉祭」の愛称で、60歳以上の方を中心とする様々な世代の人たちが楽しみ、交流を深めるための「スポーツと文化の祭典」です。厚生省創立50周年を記念して、昭和63年（1988年）に兵庫県で第1回大会が開催されて以来、毎年開催されており、その節目となる第30回大会が秋田県で開催されることになりました。全国から約1万人の選手・役員が参加する大規模な催しで、県内17市町村を会場に26種目が開催され、由利本荘市は「ソフトボール」と「剣道」会場となります。今大会のPRキャラクターは左記の「んだッチ」だそうです。

「ねんりんピック」のお手伝いとして各小中学校では都道府県別の応援旗を作ることになりました。3年生は埼玉県と相模原市、2年生は愛媛県、1年生は鳥取県が割り当てになっています。早速3年生が放課後仕事に取りかかりました。まだ行ったことのない県や市でも、スポーツを通して知る機会を得たことは見聞や視野を広めるという点でも、子どもたちにとって大変有意義なものであると思います。大会開催中は由利中も会場になります。みんなの元気な声で声援を送りましょう。



旗づくりに盛り上がる3年生

頑張れ全県大会！



7月14日（金）の朝、全県大会の壮行会を行いました。15日（土）から始まる「全県総合体育大会」には、雄和を会場に陸上部として〇〇〇〇さん（3年）と〇〇〇〇さん（2年）が、ソフトボール部は小友のソフトボール場で熱戦を繰り広げます。この3連休「最後の夏」に全ての思いをぶつけて頑張ってくれることと思います。

また、吹奏楽部は8月1日の「全県大会」が勝負の時となります。残念ながら「合同の部」は県大会以上に進むことができませんので、3年生にとって「最後の大会」となります。2つの吹奏楽部が調和しながら、最高の演奏ができるよう頑張ってくれることを祈っています。保護者の皆様、地域の皆様の応援をよろしくお願いいたします。